

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782

41
24

山野特連局長、
17-1 民政官会談

秘
無期限

北米局長
参事
北米課長

總理任 山野特連局長
沖縄訪問報告

昭41. 1. 27
北米課

去る24日 沖縄を訪問した山野特連局長より
電話を以て、中島北米局参事員に沖縄訪問の結果に
ついで、通し連絡があった。

主として、
1. 7-1-1 民政官、社印副民政官と会談した。その内
容の概要は次通りである。

(1) 内南洋の沖縄人募参問題
總理訪沖の際に出た問題であるが、その後経過

如何なる方針。質問に対し、米側から、現在USCARと
内南洋の関係を当面有と話し合っている努力中であり、今暫く

待つべきと答へられた。

(2) フラット改正問題

額については未定であるが、民政官としては樂觀的である。
見直しとしては500万ドル^{位は}のフラットと見られると予想されている。
5年以内

増額分は全て教育補助に用いられると予定している。

(3) 自治権拡大問題

当方の今後自治権拡大の面ではやるべきところがあるが、
そのうち、度々要望はあり、先方より、基本的には全く

同意見で、一例としては、2月1日立法院開会に当たって
外ソ、高等教育の演説は、形式的なものに止め、具体的

施策については、私固主席演説で打ち出す方針に配慮を
いたすべし。

(4) 地方自治の強化問題

当方より、地方自治の強化につき米側に設解があるが、
見受けられるが、
米側の施政はどうか

述べたように、7-7-1 米政府は、これは琉球内部の
問題で、日本側が余り積極的な発言するのは困る

述べ、ネビロ副米政府は、^{中時}どうしておられるかが
はたしと述べたり、ネビロの方が positive である
より

より印象を受けた。

(5) 協議委員会開催時期

先方より次回協議委員会は何時頃開催する
よとの見込みを尋ねたが、当方より3月か4月頃かといふ

は10月か答へたが、7-7-1 米政府は3月は早退だと
思ふので、4月か5月頃か適当かといふか述べた。

(6) 輸銀の融資問題

当方より一応話したが、

2. 主席選任問題につき、閣僚の見解は若干が
あることはあるが、前回の松岡主席指名の際の程のと

同様の見解、余り心配しないといふことがあつた。

3. 一般政権につきは、昨年主席選出方法の改正、

沖縄援助も増え、自治権拡大につき7-7-1 連の
措置が行われるとの見込みがあり、一年前と比較して

いかに好く有り、政界、経済界、一般の人々の間
の空気が非常に活発に来たり、日米施政の効をどう

素下りの印象を受けた。